

令和4年度 事業経過報告

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

当会は昭和3年4月2日に「社団法人 大日本陰陽会」を設立許可（民法第34条 水野錬太郎文部大臣）され、昭和17年「社団法人 大日本易道会」と改称、昭和24年「社団法人 全日本易道学会」と改称、昭和33年4月22日に定款の一部変更とともに「社団法人 日本易学連合会」に改称するという経緯をもち、今年度で社団法人設立から95年を迎えます。

平成25年4月1日公益社団法人設立となりました。令和4年度も公益認定に相応しく社会の信用・信頼に応える法人として、より広く門戸を開き、公益性を取り入れた研修会、講演会、連続講座、講習会、鑑定会《ボランティア、チャリティ含む》、寄付金増額、当会への認知度向上等を計画し活動してきました。また、懇親会は例年であれば講師の先生や会員相互の交流を図る目的で開催しますが、今年度は新型コロナウイルス感染予防のため、中止いたしました。

定款第2章／第4条及び第5条に則り、下記の事業概要を報告します。

1. 本部行事の開催

公益社団法人としての自覚を持ち、社会の信用・信頼・奉仕に応えるため、より広く門戸を開くことを心がけました。本部では総会・慰霊祭・シンポジウム・各種研修会・講演会を企画・運営し、会員の知識や人格向上を図りました。さらに多くの人々に易学とそれに関わる学問の良さを知らしめ、幸せな人生が送れることを願い、それを目的としました。また、各地において研修会・講演会を開催いたしました。

1. 本部 通常総会

① 第94回通常総会

期 日 令和4年5月16日（月）

場 所 明治記念館 丹頂の間 東京都港区元赤坂

出席者 会員41名・委任状出席285名 合計326名

内 容 令和3年度事業経過報告、令和3年度理事会議案事項報告、令和3年度収支計算書承認、令和3年度財務諸表承認、監査報告。令和4年度事業計画案報告、令和4年度予算案報告。新型コロナウイルス感染予防のため、会員に向け会場の様子をオンラインで配信しました。

② 令和4年度「認定鑑定士章」貸与式 及び「入門課程修了証」授与式

期 日 令和4年5月16日（月）

場 所 明治記念館 丹頂の間 東京都港区元赤坂

内 容 入門課程修了証授与者（令和4年上期1名・令和3年下期1名）、入門課程修了証授与式参加者1名。認定鑑定士章貸与者（令和4年上期3名）、認定鑑定士章貸与式参加者3名。

③ 第94回通常総会後の懇親会

期 日 令和4年5月16日（月）

内 容 新型コロナウイルス感染予防のため、今回の懇親会は中止とさせていただきました。

2. 本部 先師先哲慰霊祭

① 第94回 陰陽道先師先哲慰霊祭

期 日 令和4年10月11日（火）

場 所 真言宗豊山派大本山護国寺大本堂 東京都文京区大塚

仏式・護国寺 本殿（貫首含め15名の僧侶にて読経）

神式・護国寺境内慰霊碑前（相模國一之宮・寒川神社 禰宜、権禰宜にて祝詞奏上）

出席者 会員15名・ご遺族列席者3名 合計18名

内 容 新型コロナウイルス感染拡大予防のため、理事と監事と認定鑑定士章貸与式参加者が会員を代表して先師先哲の方々への慰霊と感謝を捧げました。

② 令和5年度「認定鑑定士章」貸与式 及び「入門課程修了証」授与式

期 日 令和4年10月11日（火）

場 所 護国寺・桂昌殿 東京都文京区大塚

内 容 入門課程修了証授与者（令和4年上期3名）新型コロナウイルス感染予防のため、今回の

入門過程修了証授与者3名の賞状は自宅へ郵送。認定鑑定士章貸与者(令和4年下期3名)、認定鑑定士章貸与式参加者2名。

③ 先師先哲慰霊祭時講演会

期 日 令和4年10月11日(火)

内 容 新型コロナウイルス感染予防のため、今回の講演会は中止とさせていただきます。

④ 先師先哲慰霊祭後の懇親会

期 日 令和4年10月11日(火)

内 容 新型コロナウイルス感染予防のため、今回の懇親会は中止とさせていただきます。

3. 本部 シンポジウム

第9回シンポジウム

期 日 令和4年7月16日(土)

場 所 二松學舎大学 九段キャンパス 東京都千代田区三番町

講 師 町泉寿郎先生(二松學舎大学教授)、湯浅邦弘先生(大阪大学大学院教授)

演 題 「湯島聖堂と懷徳堂」

出席者 会場参加者53名・オンライン参加者37名 合計90名

内 容 江戸時代の東西を代表する「堂」である、湯島聖堂と懷徳堂の歴史や特色を比較し深く理解できました。また現在の斯文会と懷徳堂記念会が継承していく中で、社会貢献活動についての現代的意義を学びました。

4. 本部 焼納祭

第15回認定鑑定士章焼納奉告祭

期 日 令和4年11月16日(水)

場 所 相模國一之宮・寒川神社拝殿 神奈川県相模原市宮山

対 象 者 認定鑑定士章返納会員

出席者 会員(理事含む)14名

内 容 認定鑑定士章(木札)返納20枚に対し、感謝を込めてお焚き上げを行いました。

2. 支部報告会・研修会・講演会・講習会等の開催

各支部では、研修会・講演会・連続講座・講習会等を企画・運営し、会員の知識や人格向上を図りました。さらに多くの人々に易学とそれに関わる学問の良さを知らしめ、幸せな人生が送れることを願い、それを目的とし各地において開催いたしました。研修会等の後に行われる懇親会は、例年であれば講師の先生や会員相互の交流を図る目的で開催しますが、今年度は新型コロナウイルス感染予防のため、中止いたしました。

1. 北海道支部

① 報告会・春季研修会

期 日 令和4年4月24日(日)

場 所 札幌エルプラザ 北海道札幌市北区

講 師 中里彰男先生

演 題 「やさしい九星気学」

出席者 会員13名・一般10名 合計23名

内 容 令和3年度事業報告・決算報告、令和4年度事業計画・予算案等の報告。太陽と地球の関係や月の朔望が人に影響を与えていることを学びました。また、祐気取り(開運法)では、祐気畜保ができて開運につながることを教えていただきました。

② 夏季研修会

期 日 令和4年7月24日(日)

場 所 札幌エルプラザ 北海道札幌市北区

講 師 松本哲生先生

演 題 「家相」

出席者 会員10名・一般6名 合計16名

内 容 中心及び中心宮の取り方や磁北と真北について教えていただきました。一般的な家相の本で知ることのできない内容で、「井田法」や「中心切り」等多くのことを学びました。

③ 秋季研修会

期 日 令和4年11月6日(日)
場 所 札幌エルプラザ 北海道札幌市北区
講 師 仁科朱陽先生
演 題 「一桁霊数で個性を知る方法」
出 席 者 会員10名・一般4名 合計14名
内 容 霊数1～9がどの宮に回座するか、同じ霊数でも入る宮によって霊数の捉え方が変わることを学びました。また、ワンダーポイント(運勢の転換点)の過ごし方。ワンダーゾーン等教えていただきました。

2. 東京支部

① 報告会・春季研修会

期 日 令和4年4月2日(土)
場 所 としま産業振興プラザ・イケビズ6階多目的ホール 東京都豊島区西池袋
講 師 上島慶晃先生
演 題 「九星気学III」
出 席 者 会員28名(うちオンライン参加6名) 合計28名
内 容 令和3年度事業報告・決算報告、令和4年度事業計画・予算案等の報告。研修会は上島慶晃先生から気学シリーズIIIを学びました。懇親会は新型コロナウイルス感染予防のため、中止いたしました。

② 秋季研修会

期 日 令和4年9月12日(月)
場 所 としま産業振興プラザ・イケビズ6階多目的ホール 東京都豊島区西池袋
講 師 谷上眞咲樹先生
演 題 「神仏参拝の作法」
出 席 者 会員24名(うちオンライン参加1名)・一般1名 合計25名
内 容 当初は「バス日帰り研修会」の予定でしたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止とし、代案として研修会を開催しました。「神仏参拝の作法」として神社・仏閣での参拝方法を学びました。特に参道での歩く位置及び拝する際の手の位置などを教えていただきました。十二支の守り本尊なども通常とは違う捉え方で教えていただきました。

③ 冬季研修会

期 日 令和4年11月25日(金)
場 所 としま産業振興プラザ・イケビズ6階多目的ホール 東京都豊島区西池袋
講 師 中山圭桜先生、川島永橋先生、新宮有貴先生
演 題 中山圭桜先生「気学」～方位について知っておきたいこと～
演 題 川島永橋先生「手相」～生命線～
演 題 新宮有貴先生「干支九星」～流年法：個人の特性と運気の消長を知る見方～
出 席 者 会員31名(うちオンライン参加12名)・一般2名 合計33名
内 容 オンラインでの参加者が増え、盛況のうちに研修会を開催できました。三名の各先生方の特徴が表れた講演でした。

④ 新春研修会

期 日 令和5年2月6日(月)
場 所 としま産業振興プラザ・イケビズ6階多目的ホール 東京都豊島区西池袋
講 師 松本哲生先生、井上湖悠先生
演 題 松本哲生先生「天干地支九星で見る今年の各人の運勢」
演 題 井上湖悠先生「日易連と運命学と私」
出 席 者 会員32名(うちオンライン参加14名)・友の会1名・一般2名 合計35名
内 容 松本哲生先生からは、新春にふさわしく今年の運勢が九星盤だけで見ると、十二支と九星盤及び十干十二支と九星盤を入れて、その違いがわかるような詳細な年運判断を教えてくださいました。井上湖悠先生からは日易連の過去の経緯や、井上先生ご自身が感じた慰霊祭の重み、やがてその場に名前が刻まれる光栄さを楽しみ語りいただきました。

3. 中部支部

① 報告会・春季研修会

期 日 令和4年5月21日（土）
場 所 名古屋ウイंकあいち 1108号 愛知県名古屋市中村区名駅
講 師 慶岡佐和香先生
演 題 「周易を読み解く」～当たる占断のコツ～
出 席 者 会員14名・一般5名 合計19名
内 容 令和3年度事業報告・決算報告、令和4年度事業計画・予算案等の報告。研修会では易経の歴史と基礎知識を元に、当たる占断のコツを講義していただきました。占う前の筮前の審議や占的の重要性について例題を交えて教えていただきましたが、事例はポイントを押さえていまして、今後の易経判断をする上での確かな判断に近づけるヒントになりました。

② 秋季研修会

期 日 令和4年9月10日（土）
場 所 名古屋ウイंकあいち 愛知県名古屋市中村区名駅
講 師 中條泰彦先生
演 題 「周易と五行易の活用法」
内 容 講師の体調不良により、研修会は中止になりました。

③ 新春研修会

期 日 令和5年1月21日（土）
場 所 名古屋ウイंकあいち 愛知県名古屋市中村区名駅
講 師 中島学先生（五行推命学研究会副会長）
演 題 「推命の方法論序説」～中国・日本の諸流派～
出 席 者 会員14名・一般7名 合計21名
内 容 四柱推命は中国で生まれ日本に渡ってきましたが、現在の日本において流派は多岐にわたります。当会でも四柱推命を学んでいる方は多いが、やはり流派は様々です。今回はこの四柱推命の流れと、流派の違いについて、何がどのように捉え方に違いがあるかを重点的に学ぶことができました。色々な流派の観点を掴むことは今後の研究に役に立ちました。

4. 京滋支部

① 報告会・春季研修会

期 日 令和4年4月17日（日）
場 所 京都経済センター 京都府京都市下京区函谷鉾町
講 師 朱麗華先生
演 題 「運を伸ばす九星気学開運法」～傾斜鑑法で観る過去・現在・未来の判断法～
出 席 者 会員29名（うちオンライン参加12名） 合計29名
内 容 令和3年度事業報告・決算報告、令和4年度事業計画・予算案等の報告。個人の生まれた年の本命星と生まれた月の九星～月命星そしてこの2つの関係性から割り出される傾斜鑑法をもとに、個人の運命を導く方法についてお話しいただきました。具体的には①運勢と性格②職業③結婚④配偶者⑤家庭⑥子ども、をテーマに6名の著名人を例にあげながらわかりやすく解説いただきました。

② 秋季研修会

期 日 令和4年10月23日（日）
場 所 京都経済センター 京都府京都市下京区函谷鉾町
講 師 松村佳扇先生
演 題 「実践 四柱推命・気学（命式から魂・環境を読む）」
出 席 者 会員34名（うちオンライン参加12名） 合計34名
内 容 日干の「魂」に強い影響を与えるのが月干（生き方を示唆）と日支（質を表す）で、十二運の特徴を演出したり、生きるための鍵となる気を示すことから「胎」から「絶」までのそれぞれの特徴を詳細に解説いただきました。また5名の命式鑑定事例を用いながら、日盤を使った気学の読み解き方も細やかにお話しいただきました。

③ 冬季研修会

期 日 令和5年2月12日(日)
場 所 京都経済センター 京都府京都市下京区函谷鉾町
講 師 金寄泰衍先生(風水環境システム研究所所長)
演 題 「風水の開運原理を探る」
出 席 者 会員29名(うちオンライン参加6名) 合計29名
内 容 今回はこれまで積み重ねてこられた実践からさらに進化させた開運原理や仕組みについてお話しいただきました。開運原理の中で最も重要視すべきなのは家の中心軸＝太極柱であり、家に太極柱がなければ方位は生じない。家、居住する人、その土地の氣を活性化し、建物(家)を中心に太極柱を発生させることが開運の基本であることなどを学びました。

④ 勉強会

期 日 令和4年11月26日(日)、令和5年3月25日(土)
場 所 KBS 京都カルチャー ほか
講 師 松村佳扇先生
演 題 「先天盤図と後天盤図の解説 命式の読み」など
出 席 者 各回15名
内 容 易経的分析、気学の根源など基礎的な話から、例題として命式鑑定書をもとに四柱推命の実践指導などを学びました。

5. 近畿支部

① 報告会・春季研修会

期 日 令和4年4月10日(日)
場 所 国民会館 大阪府大阪市中央区大手前
講 師 奈良場勝先生(暁星高校教諭)
演 題 「近世易学研究-江戸時代の易占」
出 席 者 会員34名(オンライン参加含む)・一般6名・講師同伴1名 合計41名
内 容 令和3年度事業報告・決算報告、令和4年度事業計画・予算案等の報告。19Pにわたるカラー版の資料をご用意いただき感謝です。今回、中世に形成された「易神」が江戸時代に衰退し、今日には伝わっておらず、別の形、北辰(北極星、北斗七星)信仰、鎮宅霊符神の信仰についてご講演。関連して中世、中国の易に関する内容を多く盛り込んでいただき、貴重な内容を聞かせていただきました。

② 秋季研修会

期 日 令和4年10月16日(日)
場 所 国民会館 大阪府大阪市中央区大手前
講 師 濱口昭宏先生(術数史学研究者)
演 題 「陰陽五行思想の来歴」
出 席 者 会員36名(うちオンライン参加12名)・一般4名 合計40名
内 容 陰陽五行思想に関する通説に始まり、本当の事と嘘のことが入り交じっている歴史をたどり「易」と陰陽説、また時代よっての解釈の違い、孔子と易など詳細に語られた。五行篇では、時令思想、相勝から相生へ皇帝が変わる時の判断、五行図の一般的な図と医学的な図の違いを説明。大変興味深く拝聴。このレベルまで知ることを痛感いたしました。

③ ボランティア鑑定会 ろうあ者文化祭

期 日 令和5年2月5日(日)
場 所 大阪長居障害者スポーツセンター 大阪府大阪市東住吉区長居公園
主 催 公益社団法人聴力障害者協会
出 席 者 鑑定士3名・手伝い2名 合計5名
内 容 当初予定していた令和4年10月23日(日)の開催は延期。規模を縮小して令和5年2月5日(日)に開催。鑑定士3名(米田莉婉、琉李煌、仁井田佳泉)2時間で24名鑑定。売上12,000円から3名の交通費(1,000円×3名)を引き、9,000円を寄付しました。皆様心待ちにしておられました。途切れることなく大盛況で終了いたしました。

④ 勉強会

期 日 令和4年9月～令和5年3月 第3土曜日

場 所 大阪市立社会福祉センター

講 師 武藤素宗先生

演 題 「四柱推命」

出 席 者 各回15名

内 容 新しく当会で作成した四柱推命本を中心に学び、認定鑑定士申請者で得意科目が四柱推命の方対象に学んでいただき流派の違いなどをなくし統一を持たせること。テストの時、問題が発生しないよう勉強会を設けました。

6. 山陽支部

① 報告会・春季研修会

期 日 令和4年4月24日(日)

場 所 とおり町交流館 広島県福山市笠岡町

講 師 木下琢啓先生(陰陽道史研究会研究員)

演 題 「陰陽道の近現代史」～陰陽道再興運動と大日本陰陽会～

出 席 者 会員10名(オンライン参加含む)・一般他1名 合計11名

内 容 令和3年度事業報告・決算報告、令和4年度事業計画・予算案等の報告。日本易学連合会と土御門家とのつながりからどのような歴史があったのか、紐解いて学びました。明治3年からお話しいただきました。公には陰陽道は一旦幕を閉じることになります。そこから安倍氏土御門家は模索して日本易学連合会の前身である「大日本陰陽会」を発足したのでした。戦争など色々な困難の中、昭和21年法律改正され「天社土御門神道本庁」を設置。現在は節分と大祭を斎行されております。

② 秋季研修会

期 日 令和4年9月11日(日)

場 所 ダイワロイネットホテル姫路 兵庫県姫路市駅前町

講 師 中島学先生(五行推命学研究会副会長)

演 題 「五行による命理鑑定学」

出 席 者 会員17名(オンライン参加含む) 合計17名

内 容 四柱推命から算出した命式を円形の「五行図」に星を割り当てて全体のバランスで個性を読み解く。という画期的な講義内容でした。バランスの偏った方には流年方・干合・三合・貫通星などからポジティブになれるように鑑定する方法などを学びました。

3. 出版事業部

① 「実占開運手帳」領布

期 日 令和4年8月販売開始

内 容 第14回目になる当会監修の手帳領布は、会員からの貴重な意見を取り入れ改良を重ね、より使いやすく見やすくなるよう令和5年度版引き続き作成。会員及び希望者に令和5年度版「実占開運手帳」領布しました。鑑定に必要な東洋と西洋の易学の基礎知識を網羅した手帳。令和5年度版暦、周易(易経)、断易(五行易)、相学(人相・手相・家相)、気学(方位学)、四柱推命、算命学、姓名判断、奇門遁甲、納音の運勢、西洋占星術、タロット等。携帯に便利な上、一冊で鑑定及び勉強に役立ち、一年間利用できる利点がある。また、易学図書を専門に販売している書店からも好評を得ました。

② 寒川神社発行「さがみ暦」

期 日 令和4年6月までに作成

内 容 当会と関係の深い、相模國一之宮・寒川神社が発行する「さがみ暦」の中の運勢欄を担当することにより、易学で使用する暦を世の中に普及できました。また、寒川神社で頒布する暦を通して、日本の伝統文化の在り方を社会に示すことにもつながりました。

4. 収益事業部

① 講習会

期 日 令和4年4月～令和5年3月 月1回（第2金曜日）
場 所 日易連 318号室
講 師 野村周石先生
講 座 名 「周易の上級」
出 席 者 会員3名 合計3名
内 容 前年度に引き続き、『易経』の卦辞や爻辞を味わいながら、占筮の醍醐味を学びました。

② 講習会

期 日 令和4年4月～令和5年3月 月1回（第2月曜日）
場 所 日易連 318号室
講 師 野村周石先生
講 座 名 「周易の実占」
出 席 者 会員1名・一般他2名 合計3名
内 容 前年度に引き続き、『易経』の卦辞や爻辞を味わいながら、占筮の醍醐味を学びました。

③ 講習会

期 日 令和4年4月～令和5年3月 月1回（第1火曜日・午前）
場 所 日易連 318号室
講 師 岸浦光伶先生
講 座 名 「西洋占星術」
出 席 者 会員1名 合計1名
内 容 前年度に引き続き、『西洋占星術』の講習を行いました。

④ 講習会

期 日 令和4年4月～令和5年3月 月1回（第1火曜日・午後）
場 所 日易連 318号室
講 師 岸浦光伶先生
講 座 名 「タロット」
出 席 者 会員1名 合計1名
内 容 前年度に引き続き、『タロット』の講習を行いました。

5. 鑑定事業部

① 認定鑑定士取得者による鑑定会

期 日 随時
場 所 日易連 318号室 他
出 席 者 日易連認定鑑定士
内 容 本部事務所に問い合わせされた鑑定希望者を、認定鑑定士取得者が適切かつ親切に鑑定をして、お客様に喜ばれました。今年度は5件の鑑定依頼がありました。

② アサダオフィス主催 アサダセミナー

期 日 令和4年5、7、9、11、令和5年1、3、奇数月 計6回
場 所 取手市内 公共施設
鑑 定 士 日易連認定鑑定士
内 容 毎日を明るく、楽しく、健康に過ごす為の知恵を学ぶ会。毎回10数名を鑑定する鑑定会を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染予防のため、開催は中止となりました。

③ ボランティア鑑定会「ふれあい耳まつり」

期 日 令和5年2月
場 所 江戸川区東部区民館 東京都江戸川区
内 容 聴覚障害者の方々に対して、手話通訳を入れてボランティア鑑定会を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染予防のため、開催は中止となりました。

- ④ ボランティア鑑定会 「耳の日記念文化祭」
 期 日 令和5年2月～3月（土日2日間）
 場 所 東京都障害者福祉会館 東京都港区芝
 出席者 日易連認定鑑定士と会員 20名参加予定
 内 容 聴覚障害者の方々に対して、手話通訳を入れてボランティア鑑定会を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染予防のため、開催は中止となりました。

6. 検定事業部

- ① 周易検定試験受験者の為の講習会
 期 日 令和4年10月2日（日）
 場 所 東京会場・・・日易連 318号室
 大阪会場・・・国民会館小ホール 大阪府大阪市中央区大手前
 出席者 会員20名・一般10名 合計30名
 内 容 当会の周易初級テキストを主とした内容で、検定試験受験者のための勉強会を実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染予防のため、今回の検定試験受験者のための講習会は中止とさせていただきます。
- ② 周易検定試験（初級）
 期 日 令和4年11月6日（日）
 場 所 東京会場・・・日易連 318号室
 大阪会場・・・国民会館小ホール 大阪府大阪市中央区大手前
 出席者 会員20名・一般10名 合計30名
 内 容 周易初級の検定試験を東西の2会場にて実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染予防のため、今回の検定試験は中止とさせていただきます。

7. 総務部

1. 占術団体との交流

占術団体として影響力のある組織、日本占術協会と東洋運勢学会との交流を深めることは、当会及び日本社会にとって意義あることと考えます。

- ① 日本占術協会 シンポジウム及び懇親会
 内 容 新型コロナウイルス感染予防の観点から、今年度のシンポジウム及び懇親会の開催は中止となりました。
- ② 東洋運勢学会 シンポジウム及び懇親会
 内 容 新型コロナウイルス感染予防の観点から、今年度のシンポジウム及び懇親会の開催は中止となりました。

8. 機関誌部

奇数月(隔月)に会員・友の会会員・他会関係者などに「日本易道タイムス」を送付します。本部及び支部からのお知らせ、研修会予定、報告書、月運、会員からの記事等を掲載しました。月運執筆者は5月号より中部支部・菊野寿怜先生から東京支部・恵本裕己先生に交代いたしました。又「日本易道タイムス増刊号」の記事選定・校正・発刊業務を行いました。

- ① 「日本易道タイムス増刊号」(春号・秋号)
 期 日 令和4年4月～令和5年3月（4月・10月に発刊）
 場 所 原書房・鴨書店・中尾書店（販売） 国立国会図書館（寄贈）
 内 容 春号「日本易道タイムス増刊号」令和4年4月15日増刊第16号
 ①公益社団法人日本易学連合会 第8回シンポジウム「元号を語る・後編」
 ②対談（所功先生×湯浅邦弘先生）
 ③社団法人大日本陰陽会が執行した「天社宮祭祀」～土御門祭祀について～
- 秋号「日本易道タイムス増刊号」令和4年10月15日増刊第17号
 ①公益社団法人日本易学連合会 第9回シンポジウム「孔子を祭る」～日本における孔子祭典～

- ②講演「湯島聖堂の孔子祭」(町泉寿郎先生)
- ③講演「懐徳堂の孔子祭」(湯浅邦弘先生)

9. 組織部

会の運営や事業のすべてにかかわる部門ですので、本部と各理事・支部長・担当者等の中で事がスムーズに運ぶよう働きました。また、入退会希望者の書類受付・審査・理事会承認等の手続き全般に関する事をしました。

10. 倫理部

規則と規律の中にもこそ和と輪ができ、社会の一員として責任ある行動を取り、正直で恥じることなく社会に貢献することを心がけました。当会に所属する会員が倫理規程に違反するときは、会則に従って審議され処分を受けることとなります。倫理規程の制定目的は会員の倫理規範の向上にあります。

- ① 会員名簿を更新掲載
- ② 今月の運勢欄、月盤・更新掲載
- ③ 沿革欄の修正と更新掲載
- ④ ホームページの更新作業段取り
- ⑤ ホームページ新規作成の発注作業及び協力会社との打合わせ

隔月のホームページの見直しと更新処理をしました。当会が定める会則に従い違反行為とみなされる方を皆様の協力に基づき調査しました。確認後、個々に通達しました。新型コロナウイルスの為か、作業ははかどりませんでした。

11. 認定鑑定士部

当会には「入門課程修了証」と「認定鑑定士章」という資格を認定する制度があり、会員はそれぞれに質の向上を計り、それを目指しています。いずれの取得に関しても試験や論文提出の義務があり、それを満たした会員に「入門課程修了証」は授与、「認定鑑定士章」は貸与の決まりがあります。会員が様々な理由で退会した時は、「認定鑑定士章」は返却されなければなりません。返却された「認定鑑定士章」は寒川神社で焼納奉告祭としてお焚き上げを行っています。また、木札と称されている「認定鑑定士章」は、昭和40年頃は文部省許可と記された経緯があります。

1. 本部「認定鑑定士章」貸与式 及び「入門課程修了証」授与式

期 日 令和4年5月16日(月)
場 所 明治記念館 丹頂の間 東京都港区元赤坂
内 容 入門課程修了証授与者(令和4年上期)1名(賞状は自宅へ送付)
認定鑑定士章貸与者(令和4年上期3名)(貸与式参加者3名)
*試験日は東西共に3月26日(土)13時00分～

2. 本部「認定鑑定士章」貸与式 及び「入門課程修了証」授与式

期 日 令和4年10月11日(火)
場 所 護国寺・桂昌殿 東京都文京区大塚
内 容 入門課程修了証授与者(令和4年下期)3名(賞状は自宅へ送付)
認定鑑定士章貸与者(令和4年下期3名)(貸与式参加者2名、1名は近畿支部秋季研修会で貸与)
*試験日は東西ともに8月20日(土)

以上